

●とびくす●

木造伝統構法の新ステージへ ～妙典寺本堂への限界耐力計算法～

板野支部 多田 豊

この1年、木造伝統構法に対する認識を見直す機会が、会員それぞれに多くあったのではないかと思います。それは、私の場合には、昨年7月の木造建築研究会の発足や伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会キャラバンツアー（12月）、また、実務として古民家の耐震改修でした。古民家の構造を学ぶほどに、筋違や合板等による改修方法だけでなく、柔構造を活かした改修のあり方を考えなくては、後世に本当の民家を伝えられなくなるのではないかと考えるようになりました。

改修のあり方のひとつとして、限界耐力計算法があるのではないかとそのような思いで、7月8日に開催された「妙典寺本堂建築現場見学会・講演会」（以下、「見学会」）に参加された会員もいたのではないのでしょうか。2007年の改正建築基準法施行以降、県下第一号となる限界耐力計算法の適用事例であり、会員の関心は非常に高く、定員（見学会60名、講演会120名）を大きく上回る申し込みがあったため、見学会の回数を増やし、当日は見学会97名、講演会150名の方々に参加いただきました。県外からも多数の参加があり、関心の高さが伺えました。

見学会では、設計・施工者である西澤工務店の多大なご尽力により、伝統構法の仕口等の模型を用いた納まりの説明や、西澤政男棟梁による設計・施工方法の解説をいただきました。参加者は熱心に納まりをみる者、スケッチをする者、棟梁の言葉を一つ残らず書き留めようとする者等、素晴らしい学びの場となりました。

見学会の後、場所をあわぎんホールに移し、講演会が開催されました。講演会では、妙典寺本堂（以下、本堂）の設計・施工に関わる3名の方々より発表がありました。

本堂の限界耐力計算法を行われた福本和正先生（元滋

賀県立大学教授）からは、構造計算適合性判定からの指摘事項や計算法の過程、また、頭貫と交点の固定度の実験による検証や、屋根裏材及び組物等にまで至る詳細な荷重の積算方法についても解説をいただきました。

頭貫仕口部の構造実験を行われた小林正実先生（岡山理科大准教授）からは、社寺の材が高価であるため、実大実験ではなく1/2、1/3、1/4にスケールダウンをした数試験体による構造実験の方法（スケール則への適合等）について説明をいただきました。

最後に、西澤棟梁の講演があり、まず、ご自身が目指される建築像として「長寿命建築」を示され、それは、老朽化しても後世の人々に修理したいという意思を湧き上がらせる、時代を超え、日本人の感性や美意識に適合した力をもった建築であるとの説明がありました。

本堂の設計にあたっては、「降れ隅」により破風を大きくみせ軽やかな印象を与えたこと、軒の線を滑らかにみせるために墨付けの難しい「隅延び」を行っていること、構造的強度を増すため足固貫継手は柱内部ではなく柱間で金輪継ぎとしたこと、柱頭へのめり込み防止のために9ミリ鉄板を敷き込むこと等々、「長寿命建築」を実現するための技法について惜しみなく解説をいただきました。3者の発表に対して参加者の関心は高く、会場からは多数の質問がありました。

本堂の設計・施工及び限界耐力計算法の適用は、本県における木造伝統構法の新たなステージ、すなわち古民家改修にあたっての限界耐力計算適用や伝統的構法による新築住宅等を目指すにあたり、先導的な役割を果たすと思われ、継続的に関心を持ち続けていきたいと思えます。また、工事の様子は、西澤工務店 HP にて特設ページが設けられておりますので、ぜひご覧ください。
<http://www2.ocn.ne.jp/~n-komu/newpage89.html>

ご報告とお知らせ～事務局より

- 当初予定していた定員数以上のお申し込みをいただきました。見学を午前中に変更していただいた方々、やむなくお断りさせていただいた方々にはお詫び申し上げます。
- 講演会会場にて忘れ物がありました。財布は徳島東警察署（TEL 088-624-0110会計係）に届けています。ヘルメットは士会事務局（TEL 088-653-7570）でお預かりしています。お心あたりの方は、上記までお問い合わせください。



現場見学会での西澤棟梁による解説の様子

姫路・神戸を巡る旅～青年部研修旅行

川島支部 林 宏和

先日の6月23日・24日青年部県外研修会に参加させていただきました。

徳島からバスに揺られて約3時間、姫路市に到着です。まず、レストランで昼食後、姫路城西御屋敷跡庭園「好古園」を散策です。この「好古園」とは、姫路市制百周年を記念して造営され、平成4年に開園した池泉回遊式の日本庭園です。昭和60年以來の発掘調査で確認された西尾屋敷跡・通路跡などの地割を活かした9つの趣の異なった庭園群で構成され、その面積は約10,000坪（3.5ha）あります。江戸時代を偲ばせる築地塀や屋敷門・長屋門、渡り廊下で結ばれた活水軒と潮音齋の佇まいが特別史跡地に相応しい歴史的景観を創り出しています。ちなみに姫路城との共通入場券がお得なのでお勧めです。

続いては、いよいよ世界遺産・姫路城（工事中）の見学です。以前、工事前の姫路城も見学したことがありますが、今回は、「姫路城大天守保存修理工事」の見学という事で、特に、屋根や壁の匠による修理風景、そして、取り外された鬼瓦や鯨の展示等もあり、普段は見られない部分が見られて大変貴重な経験ができました。今後も、工事の進行状況に合わせて展示品も展示方法も変わり、平成26年度まで工事は続く予定になっています。翌年には完成するらしいので、その時は再度、訪れてみたいと思いました。

そして、再びバスに揺られ、神戸の「グリーンヒルホテルアーバン」にチェックイン。そして南京町の中華料理店で懇親会です。次々と運ばれてくるご馳走と酒が進むにつれ、話も盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。



「姫路城大天守保存修理工事」の様子

翌日は、神戸市北野区周辺の散策です。異国情緒あふれる街並みを堪能し、続いて近くの「竹中大工道具館」の見学です。大工という職業の成り立ちから使われてきた道具の変遷、更に、珍しい世界の大工道具の展示もあり、興味のある方はお勧めです。

その後、芦屋市にある「ヨドコウ迎賓館」に行きました。ヨドコウ迎賓館（旧山邑家住宅）は、大正年間フランク・ロイド・ライトによって設計されたもので、灘の酒造家山邑太左衛門の別邸として、大正13年（1924年）2月に完成しました。我が国でライトが設計し、建築された6件の建築物の中で、住宅として唯一創建当時の姿を留めている建物です。昭和49年（1974年）に大正期に建てられた鉄筋コンクリート造の建物としては、初の重要文化財に指定されました。見どころとして、門から玄関へ向かうアプローチからは、斜面に沿うように建てられた外観を見ることができます。彫刻を施した大谷石、マホガニーの複雑な木組みや銅板の飾り金具など、特に2階応接室、3階和室、4階食堂などにライト建築の特徴を見ることができます。屋上のバルコニーからは六甲の山並み、市街地や大阪湾を眺望できます。これまで写真でしか見たことがなかったのですが、実際に目の当りにすると、細部まで施された彫刻、高さの変化による空間構成は実際よりも広く感じました。これまでに昭和60年から63年の保存修理、平成7年から平成10年の震災後の調査・修理工事を経て今に至る、貴重な建築物です。皆様も機会があれば立ち寄ってみてください。

2日間の旅程でしたが、中身の濃い内容で、非常に充実していました。今後も積極的に参加していきたいと思っています。参加された皆様もお疲れ様でした。



ヨドコウ迎賓館（旧山邑家住宅）

まちなみ3歩部

徳島支部 岩本 祥一

みなさん、はじめまして。

この場をお借りして「まちなみ3歩部」という集まりをご紹介します。

□活動目的

「建築」といっても様々な業種があり、同世代の他の業種の人たちと出会う機会が少なかったように思います。しかし、これからネットワークを築いていく上でそれぞれの分野同士が繋がりを持つことは大切なことだと考えています。

そこで、まずは建築に関わる同世代の知り合いを増やすことを目的としています。

身近な知人に声をかけ合い、気軽に参加できるグループ形態を取りながら、一連の活動を通して情報交換や交流の場になればと思っています。

同世代であり、同業種であるからこそ共有できる業務上抱える悩みや相談ごと、それぞれの考え方などを話せる関係が生まれることを期待しています。

そして、様々な分野の若手との交流により幅広い視野を持ちたいと思っています。

□活動内容

- ・建物見学ツアー、懇親会
(2か月に1回程度の頻度で開催予定)
- ・メーリングリストでの情報共有

□参加対象者

建築に関わる仕事をしている方、建築に興味のある方で、(基本的に)30歳までの方。

ご案内

■今後のスケジュール

- ・9月 懇親会
- ・10月 建物見学ツアー

興味を持たれた方はお気軽にご連絡ください。

連絡先：m.3pobu@live.jp

みんなで楽しく活動しましょう♪

先日、第1回目の活動として、高知県へ建物見学に行ってきました。

○スケジュール

- 8:00 徳島発 → 高知駅 → ひろめ市場
- 牧野富太郎記念館 → アンパンマンミュージアム
- 19:30 徳島着



▲疑問点を写真に残し、帰ってから答えを共有

今回、初対面の方もいて、どうなるのか内心ひやひやしていましたが、同世代・同業種ということもあってか、仕事の話、将来のこと、ちょいちょいグチなんかも話しながら、すぐにうちとけることができました。

また、建物見学では、まだまだ未熟なこともあり、疑問に思うことばかり。これ何のためなんだろう??とお互いに首をかしげながらの見学でした。

それでも、次に行くときはもう少し説明し合えるようになろうとお互いに高め合うイイ刺激をもらいました。

それに、異なる仕事をしている人の自分とは違った目線も感じとることができ、とても有意義な時間をすごすことができました。

今後、ここで出会えた人たちと何かにチャレンジできることを期待しています!!



▲メンバー集合写真(牧野富太郎記念館にて)

平成24、25年度【建築士としての公益的活動】 団体（グループ）募集について

(社)徳島県建築士会地域貢献活動委員会

昨年度に引き続き、社会的活動事業として、建築士会
会員が主体で行っている、建築士としての公益的活動団
体（グループ）：支部、青年・女性部会、研究会、シニ
ア会、士会会員による任意のグループなどを募集します。

《公益的活動団体募集要項》

◆募集期間

平成24年8月10日(金)～9月15日(土)

◆選考について

選考会（正副会長他＋士会地域貢献活動委員会）

平成24年9月25日(火) 18：45～

選考により活動団体（グループ）を決定

平成24年10月1日(月) 建築士会HPにて、発表予定(但
し、25年度分については、暫定発表)

※活動助成金は、発表後支給します。

◆募集活動団体（グループ）の条件と事業支出金額

- ①建築士としての公益的活動を行うもの
- ②主体が建築士会会員であるもの
- ③事業計画書により、活動目的、活動内容、活動期間
（平成24年度分：平成24年9月～平成25年3月末の
間）、（平成25年度分：平成25年5月～平成26年3月
末の間）、収支計画などを明示したもの
- ④選定により決定した団体（グループ）は、活動報告
書（活動実施報告、収支決算報告）を提出し、活動
成果を「阿波まちかど」に掲載するとともに総会等
で士会会員へ報告する。
- ⑤継続事業についても可とする。
- ⑥1件の事業支出金額の上限は25万円とし、総額は70
万円程度、応募団体が多数の場合や応募者の申請金
額が予定の総額を上回った場合は、選考会により支
出金額を決定する。
- ⑦支部による地域貢献活動事業において、事業費を受
けた支部については、事業支出金の合計金額の限度
を25万円とする。
- ⑧建築士会の公益的活動事業である旨を明示。

◆事業費の用途について

- ・人件費には使えません。

- ・飲食には使えません。（会議中のお茶程度は可）
- ・自己資金は必要ありません。
（全額事業支出金による活動も可とします）
- ・収支決算報告書及び領収書の写しを提出願います。

◆注意事項

上記の条件を逸脱する場合や、活動ができなくなった
場合は、事業支出金の返金を求めることがある。

◆公益的活動団体（グループ）事業申請について

申請する団体（グループ）においては、以下の事項を
明記してFAXまたはメールにて申請書を建築士会本部
事務局まで送付ください。申請書の様式は、士会ホーム
ページよりダウンロードできます。

■募集締め切り：平成24年9月15日(土)

申請申込み・お問合せ：建築士会本部事務局

TEL：088-653-7570 FAX：088-624-1710

E-mail：honb@toku-sikai.sakura.ne.jp

【建築士としての公益的活動】団体事業申請書

平成 年 月 日

- ①申請団体（グループ）名：
代表者名： 印
・士会メンバー名（活動予定者）または会員リスト
- ②代表者住所・連絡先：
TEL： FAX：
ケイタイ： Mail：
- ③活動名称（仮称）・継続年数（何年目）
- ④活動目的
- ⑤活動内容（活動詳細及びスケジュール等）
- ⑥今回申請の活動期間
平成 年 月 日～平成 年 月 日
- ⑦収支計画（事業支出金の使途の明示）
収入
内訳
支出
内訳
- ⑧申請金額 _____ 円

徳島支部（後藤(^ ^;)）の 活動報告

徳島支部 後藤 和典

梅雨もあけ、本格的な暑さになってまいりましたが、皆様方におかれましては、お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、今年度より徳島支部青年部長をさせていただくこととなりました私、後藤が、徳島支部活動報告、と申しますよりも、私 後藤 の活動報告をさせていただきます。

まず、初仕事?として、5月12日の徳島支部総会で行われる抽選会と、ビンゴ大会の景品を、前徳島支部青年部長の M 鍋氏と一緒に、買出しに（※注：デートではありません）Y 電機へに行きました。今まで何気なく総会に参加していましたが、景品を選ぶだけでも今までの方が色々と思案してくださっていたのだと身をもって感じました。ただ、大量の景品を選んで一気に買うという行為が、バブリーな気分(^◇^;)でちょっと快感(^ ^)でした。

続きまして、6月9、10日に山口県萩市で行われました、青年・女性建築士の集い中四国ブロック大会での地域活動実践報告で、「ひょうたん島ぐるっと川の駅構想」について発表させていただきました。発表準備にあたり、ひょうたん島活動メンバーに、パワーポイントや立派なプレゼンボードを作っていただきました。また、何度も集まり、発表内容を一緒に考えてもらったりしました。更に、6月2日の徳島支部青年部幹事会で、他の議題を手際よく?こなし、発表内容について役員の皆様からも、色々のご指導ご鞭撻をいただくことができました。そのように色々な方のご協力のおかげで、発表内容をまとめることができました。

当日、山口へ向かうバスの中で何度も原稿を読み直していると、周りの方から「後藤がまじめにしとるでないか!?’と、今すぐ地震でも起こりそうな感じで言われてしまいました(^ ^;)。正直、最初は発表してみるのもいい経験か、くらいの気持ちで受けたのですが、徳島を代表していかなあかんのや!とのプレッシャーがあり、本当に、建築士試験より緊張しました(>_<)

そして、皆様方のご指導ご協力のおかげで、他県の活動報告を抑え見事1位を獲得することができました!

徳島支部では、年3回勉強会を開催しているのですが、第1回の勉強会として、6月30日に、atelier Coo の杉本さんに、収納について講演をしていただきました（お忙しい中時間を割いていただきありがとうございますm(_)_m)。収納のスペース（適正量）を決めることや、モノの適正量を知ることなど、自分の生活だけでなく、

建築計画に役立つお話をさせていただきました。

私は、建築士会に入会させていただいたのが、3年半ほど前で、それからちょこちょこ士会の活動に参加させていただくようになったので、支部青年部長といっても右も左も分からないような状態なので(^ ^;)、青年部の先輩方（といっても年下の方が多いですが(^ ^;)）に色々教えていただいたり、会員の方に助けていただいたりしながら、まだ短い期間ですが、何とか事業を行うことができました。

至らぬところも多いとは思いますが、徳島支部だけでなく、他支部の方にも参加していただけるように事業を進めていきたいと思っておりますので、今後とも支部活動への皆様のご協力とご参加、よろしくお願いたしますm(_)_m。



めっちゃ緊張しました



質疑に的確に?回答するワタクシ



大懇親会。この舞台上でブルーハーツ歌ったような気がする…(▽||)

還 暦 「イタリア・ツアー」

鳴門支部 松村 史朗

昨年（平成23年）とうとう60才、還暦を迎える事になりました。人生の何かの区切りにという事で、10月に家族と10日間のイタリアツアーに参加してきました。

30代前半（まだサラリーマン時代）にフランス・イギリス・ドイツ他へのツアーに行っていて以来、20数年ぶりのヨーロッパツアーとなりました。建築をめざす以上、30才代には最低、ヨーロッパ建築の原点であるギリシャ・イタリア・スペインには行っておきたいと思っていましたが、事務所の開設、日々の設計業務に追われ、近いアジア方面は何度か旅行には行きましたが、2回目のヨーロッパの建築に触れるのに長い時間がかかってしまいました。

全体的には天気にも恵まれ（ポンペイ遺跡では唯一、激しい風雨に遭いましたが…）、快適なツアーでした。各都市を巡って、印象に残った事を少し述べてみたいと思います。

まずは、関西国際空港より約13時間のフライトでローマ、そしてミラノへ到着です。かなり疲れるかなと思っていたのですが、比較的楽でした。ミラノでは、「ヴィットーリオ・エマヌエーレ2世のガッレリア」、そしてゴシック様式の教会建築「ドゥオモ」などを見学し、スケールの大きさと、鉄と石の繊細なディテールに圧倒されました。まあ、ガッレリアについては、どこかで見たかな？と思ったのですが、東京ディズニーランドのワールドバザールのアーケードにディテールの無いコピーがあった事を思い出しました。

又、次の日に訪れたベネチアも非常に印象深く、サンマルコ広場、宮殿、そしてドゥカーレ宮殿に魅了されっぱなしでした。特に、リアルト橋から見るベネチアの夕暮れ時の



ヴィットーリオ・エマヌエーレ2世のガッレリア

街並みには感動しました。又、ベネチアでは後で分かったのですが大変貴重な経験をしていました。皆さんもまだ、記憶にあると思いますが、今年1月13日にイタリア、ジリオ島付近でイタリア豪華客船「コスタ・コンコルディア号」が座礁した事件です。ベネチアでの夕暮れ時、数隻の大型客船が出航していたのですが、そのうちの1隻が間違いなく座礁した客船でした。ニュースを見た時、「煙突にCマーク」どこかで見たぞ!! と思い、写真を調べるとやはり、その客船でした。



コスタ・コンコルディア号

最後にローマでの経験の一つ!! ローマでは、定番のヴァチカン市国でサンピエトロ寺院やヴァチカン博物館にてミケランジェロの「最後の審判」で有名なシステリーナ礼拝堂を見学しました。

大塚美術館？比較する方が間違いです!!

ローマでは、コロッセオも入場予定でしたが、当日大規模なデモの開催が予定されており、入場禁止になっていました。残念!!その上、運悪く（運良く?）デモ隊に遭遇してしまい、デモ隊を横切るはめになったり、機動隊の検問にあたりで散々（楽しかった?）でした。後で聞いたのですが、デモは大荒れだったとの事でした。

いろいろあって楽しかったのですが、旅が終わって思うのはやはりもっと若いうちにいろいろな都市や建築を見てまわって、ヨーロッパの文化を少しでも理解、吸収しておきたかったという事です。

若い建築士の皆さん!! できるだけ早いうちに世界へ60才の忠告です。

しかし、私もこれからできるだけいろいろな都市を訪れたいと思っています。

赤ヘル、応急危険度判定訓練に参加！

徳島支部 赤尾 苑香

6月末、「応急危険度判定訓練 in 美波町」に参加しました。午前中は建築士会による応急危険度判定訓練、午後からはまちの方中心の防災タウンウォッチングというスケジュールでした。早朝、赤いヘルメットを片手に旧由岐町へと向かいました。

応急危険度判定、、、??

私自身、昨年の大震災が起こるまでは、あまりよく分かっていませんでした。

応急危険度判定は、大地震により被災した建物を調査し、余震などによる倒壊や外壁・窓ガラスの落下などの危険性を判定することで、人命にかかわる二次的災害を防止することを目的としています。

今回は由岐町の空家を使って訓練を行い、チェック項目にしたがって「赤：危険」「黄：要注意」「緑：調査済」の貼り紙を貼っていきます。



1軒目は一見激しい損傷もなさそうで、ただ一カ所1階の窓の建具が大きく外れかかった建物でした。個人的には“1階だし、注意していれば問題なく暮らせるだろう”という見解で、同じように「要注意」と判断する班と、今後の余震でいつ落ちてくるかも分からないから「危険」と判断する班に分かれました。今は大丈夫そうでも二次災害を防ぐため「危険」と判断する冷静な目も必要ですが、もしこれが実際に誰かの家なら、窓ひとつで家に入ることができなくなる住人の気持ちも考えると、何とも判断に迷う作業だなあと感じました。



その後2軒の調査を行い訓練が終了。お昼は美波町職員の浜さんや徳島大学生の井若さん、まちの女性陣からカレーと豚汁の炊き出しをいただいて、午後から防災タウンウォッチングに出かけました。

旧由岐町は「東由岐」「西の地」「西由岐」の3つの地区に分かれていて、それぞれに防災会長さんがいます。この防災タウンウォッチングでは井若さんを先頭にそれぞれの防災会長さんが自分たちの地区の避難路や避難場所を案内してくださいました。

やはり大きな被害が想定される由岐町では山手に緩やかな鉄製の階段を造ったり、自分たちで重機を動かして避難場所を確保していたり、防災倉庫には寝具や食料、日用品などが準備されていました。これまではこのように避難路の確保が重要だろうと考えていましたが、実際にまちを見て、歩いてみると、どれだけ避難路が整備されていても、家具が倒れてきたり、建物の下敷きになってそこにたどり着けなければ意味がないということも実感しました。

浜さんは防災課の担当ではないけれど、自分のまちのためにご尽力されていて、学生の井若さんは今は由岐町に住み込んで浜さんや地域の人々と一緒に力強く活動されています。私は自分のまちのことを彼らのように考えられているだろうか。そんなことを考えるきっかけにもなった、今回の訓練でした。防災研究会の中村さんをはじめ、海部支部・阿南支部・関係者のみなさん、大変お世話になりました。

最後の意見交換会では地域の方がグッとくる言葉をおっしゃられていました。

“こうやって自分たちの後ろには建築士会のみなさんがいると思うと心強くながらっていける”

みなさんの気持ちに少しでも寄り添えるように、もっと自分自身の防災意識を高めたいと思います。



●士会だよりー本部●

平成24年度国土交通大臣表彰

7月10日(火)丹羽悟(鳴門支部)さんと速水可次(徳島支部)さんが建設事業関係功労者として国土交通大臣表彰を受けました。

●士会だよりー本部●

平成24年度第2回建築士定期講習の受付

建築士事務所に所属する建築士が3年毎に受けなければならない定期講習、平成24年10月24日(水)の受付を行っています。まだ受講されていない方は、早めに申し込んで下さい。

●行政だよりー徳島市●

徳島市住まいの安全・安心なりフォーム支援事業

徳島市は、徳島県が行う「住まいの安全・安心なりフォーム支援事業」を受けた方のうち、一定の条件を満たす木造住宅を対象に、補助金の交付を行います。

【補助対象者】

市内に居住する市税に滞納のない方で、「徳島県住まいの安全・安心なりフォーム支援事業」の交付決定を受けた方。

【補助金額】

徳島県住まいの安全・安心なりフォーム支援事業を受けた方で、県補助金の額として県が確定した額の1/4内で、かつ10万円を限度とする。

【募集戸数】 50戸(先着順)

【受付期間】 平成25年3月10日まで

【申込み方法】 次の①～⑤を持って建築指導課(市役所4階)へ

- ① 補助金交付申請書(建築指導課で配布)
- ② 当該年度の徳島県住まいの安全・安心なりフォーム支援事業補助金の額の確定について(通知)の写し
- ③ 住宅の位置図
- ④ 工事完了後の住宅の全景写真
- ⑤ 認め印

【問合せ先】 徳島市建築指導課 TEL:088-621-6272

●行政だよりー徳島環境県民会議●

マイバッグ・マイバスケット作品コンテスト

お気に入りのマイバッグ・マイバスケットを作って、レジ袋削減に貢献してみませんか。レジ袋1枚はおちょこ1杯分の原油からできています。レジ袋をもらわないことは資源を大切に地球に優しい行動。

応募部門: ①一般部門

②ファミリー部門(小学生を含む家族で作製されたもの)

応募期間: 平成24年7月20日(金)～9月20日(休)

応募先: 環境首都徳島創造センター「エコみらいとくしま」または最寄りの市町村役場(環境部局)

問合せ先: 環境首都とくしま創造センター「エコみらいとくしま」
〒770-0873 徳島市東沖洲1丁目23番地
TEL 088-664-6015 FAX 088-664-6033

●行政だよりーとくしま地震防災県民会議●

地震・津波防災ポスターコンクール

次世代を担う子どもたちに「東海・東南海・南海」三連動地震などによる地震・津波災害及びその被害軽減について理解と関心を深めてもらうために、「地震」・「津波」を対象とした「防災」に関する作品を募集します。

応募区分 ①小学1～3年生の部、②小学4～6年生の部

③中学生の部

各賞 最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点(応募区分ごと)

編集後記

- ・今年も夏が来たね。(ひとはたうさぎ)
- ・暑くてどうしようもないね。(べべい)
- ・岩手は涼しかったよ。(源子)
- ・今年のまちなみ連で鳴り物デビューの予定です。(とくアマ)

建築士会本部行事案内 平成24年

8月			9月		
1日	支部長・事務局長会議	(士会会議室)	1日	二級建築士製図講習会	(士会会議室)
3日	安心リフォーム相談	()	2日	二級建築士製図講習会	()
4日	二級建築士製図講習会	()	3日	一日会	()
5日	安心リフォームセミナー	(建設センター)	7日	二級建築士製図講習会	()
8日	専攻建築士評議会	()		安心リフォーム相談	()
	建築相談	(士会会議室)	9日	二級建築士製図試験	()
10日	安心リフォーム相談	()	12日	建築相談	()
12・14日	まちなみ連		14日	財務委員会	()
17日	安心リフォーム相談	()		安心リフォーム相談	()
	事業委員会	()	19日	建築相談	()
18日	二級建築士製図講習会	()	21日	中四国ブロック事務局長会議	
24日	安心リフォーム相談	()		安心リフォーム相談	()
25・26日	二級建築士製図講習会	()	25日	地域貢献活動委員会	()
28日	地域貢献活動委員会	()			
29日	二級建築士製図講習会	()			
30日	総務委員会	()			

「まもりすまい保険」の積極的利用を!

住宅瑕疵担保責任履行法に基づく住宅保険の1つが「まもりすまい保険」で、本会が徳島県の事務機関です。

本年度から、①保険料が大幅に下げられ、また、②インターネットでの申し込みも可能になるなど、非常に使いやすくなりました。

8 施工業者の方々には積極的にまもりすまい保険を利用していただくよう、また、建築士事務所の方々も、特記仕様書でこの保険を明記するなど、積極的なご協力をお願い致します。